

まちの話題



あゆみ保育園「竹でそうめん流し」



7月17日晴れ、あゆみ保育園に歓声が沸きます。羽月在住の福元良男さん（堂崎 64歳）が企画・設置した孟宗竹のそうめん流しが登場しました。

恒例行事となって今年で4回目。大好きなそうめんを前にして、園児たちは箸を使い手を使いそうめん争奪戦を始めました。

園児78人は、あっという間に100束をたいらげ周囲の大人たちを唖然とさせました。

楽しく美味しくいただいて「福元のおじちゃん、今年もありがとう！」。

子どもたちが支える針持橋



河川拡幅に伴い、針持橋の架替え工事を進めている株式会社富士建設が、架替え記念に設置する児童の手形作成を針持小5・6年生に呼びかけました。

新しい護岸には、当時の技術者が苦勞して構築した護岸の切石を再利用し、現場保存や景観に配慮されたものになっています。

地域に必要不可欠な針持橋が、これからも愛される思い出の場所になるように子どもたちの手形が橋を支え続けます。

地域や他者とのかわり学ぶ「ふるさと学寮」

市内8校区コミュニティ協議会主催で、「ふるさと学寮」が行われました。これは小学生が3泊4日で公民館などに宿泊し、炊事や洗濯、登校支度などすべて自分でやり共同生活をするものです。

熱心に行われていた菱刈町から伊佐市になって、活動は広がり今年は曾木校区と羽月校区（写真）が初めて実施しました。

献立も子どもたちが考え、地域支援員のお手伝いをいただきながら和気あいあい過ごしました。地域の人との交流を深め、家族のありがたさも感じられた4日間でした。



「前向きな考えが表情や声をつくる」 MBC 出前授業



6月27日、山野中学校では南日本放送（MBC）の豊平有香アナウンサーを講師に招き、出前授業が行われました。生徒たちは、いつも当たり前に見たり聞いたりしているテレビやラジオの制作現場のこと、情報の伝え方やそのための工夫など、第一線で活躍する豊平アナの話真剣に聞いていました。

質問コーナーでは、早口言葉を聞きたいという生徒の要望から披露したプロの技に拍手喝采でした。

最後は「チャレンジして自分の可能性を探そう、無駄なことなんて一つもないんだから」と生徒たちにエールを送りました。

本城幼稚園運動会



7月6日、本城幼稚園の運動会が菱刈農業者トレーニングセンターで行われました。

気合い十分のプログラム1番は、親子で一緒に踊るソーランです。威勢のいい掛け声をかけながら元気な踊りを披露しました。

年少組は初めての運動会、たくさんの観客の前でドキドキのかけっこや障害物レースに挑戦しました。年中・長組は色別対抗リレーや親子競技に参加し、会場からは頑張る園児たちに惜しめない拍手が送られました。

全国大会に行ってきます



全日本空手道連盟糸東会全国選手権大会
8月23日（土）～24日（日）東京都
（敬称略・写真前列左から）

面高 杏（大口小4年）

川添結月（大口小4年）

御書小花（大口小3年）

岩永愛美（大口小3年）

蓑手陽和（大口小1年）

総監督：大園福美（写真後列）

農業経営の向上を目指す



伊佐地域の農業の将来を担う新規就農者を激励するため、7月18日に田中ふるさと館で「伊佐地区ニューファーマーのつどい」が開かれました。

平成26年度に就農した5人うち出席した4人は、自己紹介とこれからの抱負を述べたあと、先輩就農者や関係者から励ましの言葉をもらい、就農後の自立・定着に必要な支援策等について説明を受けました。

新規就農5人は、次のとおりです。（敬称略・写真左から①～④）

川原純一（大田：根深ネギ）①

大塚亨（井出原：水稲・野菜）②

坂元健人（鳥巢上：水稲・野菜）③

坂元政太郎（〃）④

鶴丸齊（城下：生産牛）

全国高校総体陸上出場



7月30日～8月3日 山梨県
新垣百恵さん
(大口明光学園高校3年 沖縄県出身)
種目：円盤投げ

ボランティアに感謝



(敬称略、順不同)

- 株式会社富士建設
市道の除草・支障枝伐採 (写真)
- 鎌田建設株式会社伊佐支店
ガラッパ公園の除草
- 有限会社荒武工務店 ガラッパ公園の除草
- 有限会社鍋倉土木 ガラッパ公園の除草
- 有限会社鮫島建設 ガラッパ公園の除草
- 有限会社清水 市道の竹・木伐採
- 上松建設有限会社 市道の竹・木伐採
- 有限会社南九クレーン 市道の竹・木伐採
- 有限会社新光建設 市道の竹・木伐採
- 株式会社中村 市道の除草作業
- 有限会社内田鉄工 市道の蓋版補修
- 林建設株式会社大口本店
市道の花壇除草・剪定

主な作業内容を掲載しました。この他まちの景観・安全のために作業してくださいました。ありがとうございました。

「大口温泉高熊荘」元気に営業中！



4月に市から管理業務を委託され牛尾校区コミュニティ協議会が営業している大口温泉高熊荘。地元野菜の販売や高齢者教室なども行われ、地域の活性化に一役かっています。

仲良しの常連さんは、「体調が良くなるし、冷房も入って涼しいから毎週来ているの」と話されました。6月末には、トイレと炊事場を備えた野営場（テントを張って宿泊する場所）も完成し、市外からバイクでキャンプにきたお客さまも温泉を利用しています。

コミュニティ主体の明るい取組みが地域を元気にしています。

大口東校区で35年ぶり夏イベント



ナイター照明を備えた大口東小学校の校庭で7月19日、「星ヶ峯コンサート」と題した音楽イベントが開催されました。コミュニティ協議会や地元有志らが発起人となり、35年前を最後に途絶えていた夏祭りに代わる夏イベントとして催されました。

童謡や懐かしい歌謡曲など年代を問わず楽しめる構成になっていて、訪れた観客は夏の夜空の下、美しい演奏と歌を堪能しました。

実行委員らは来年、夏祭りも兼ねたコンサートを実現させたいと意欲を語りました。

ラモスさん直伝「諦めない心」



7月7日、サッカー元日本代表のラモス瑠偉さんが山野中学校で講演しました。

講演では、会場に集まった山野中学生や近隣小学校の児童ら170人を前に、波乱万丈の人生をユーモアたっぷりに語り、「親を大切に、人と助け合い、諦めずチャレンジすること」と熱いメッセージを送りました。

来年の大口中央中学校開校に伴い、閉校となる同中学校生徒たちにとっては、新たな学校生活への不安を打ち消し、希望を持つことができた有意義な1日となりました。

全国に南相馬のサルビアを



「スマイルとうほくプロジェクト」の一環として、福島県南相馬市のサルビア農家が育てた花をご当地キャラクターが大使となって全国に広げる活動を行っています。

伊佐市でも7月中旬にイーサキングが届けた苗を伊佐農林高校の園芸班5人とともに同校内の花壇に植栽しました。

全国1000株のうち20株が伊佐市（伊佐農林高校・ふれあいセンター前中央公園）で育てています。

花の成長を見守りながら被災地への関心を持ち続けましょう。

社会を明るくする運動



社会を明るくする運動（犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ）は今年64回を迎えました。

「更生保護の日」である7月1日からの1か月を強調月間として、全国各地でさまざまな催しが行われました。

伊佐保護区保護司会のメンバーは市役所を訪れ、法務大臣からのメッセージを伝達するとともに安全で安心な地域社会を築こうとする運動「社会を明るくする運動」への協力を呼びかけました。

南永小児童が朗読披露



6月19日、市内小・中学校教頭研修会が行われました。会場となった南永小学校では校内施設を案内したあと、同校が積極的に取り組んでいる読書活動の一環である朗読を披露しました。

教頭先生方を前に緊張した様子の児童たちでしたが、毎週続けている朗読朝会など活動の成果を発揮しようと、それぞれ好きな作品を堂々と暗唱しました。

また今年、子どもの読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰も受けています。